

岡山県総合文化センターニュース

県内美術館所蔵作品紹介

岡山市立オリエント美術館

『二婦人像』 シリア出土、2～3世紀、高さ51cm



二人とも頬に手をあてて、遠くをぼんやり見やっている。別の手は、花綱のようなものを握っている。これは死者の肖像を伝える墓碑で、どこかもの憂げな表情に、別離の悲しみにじんんでいる。

北シリアをローマ帝国が支配した頃、地中海地域の彫刻技術が伝わった。女性が被るベールのような、砂漠地方の習俗も表わされ、土地に暮らした人の感情を今に伝える人間像が生まれた。

学校法人岡山学園(安原コレクション)から、オリエントの美術品(イラン・イラク・シリア等)の寄贈を受けて、昭和54年に開館。学術的に体系だった収集がなされていて、文明発祥の地オリエントの歴史と美術史が楽しく理解できるよう構成されている。西日本唯一のオリエントの専門館。(収蔵品約3000点)

交通 JR岡山駅表口から東へ徒歩15分
電車東山行き5分「城下」下車、
左手すぐ

岡山市立オリエント美術館



〒700-0814 岡山市天神町9-31 TEL(086)232-3636

■ホームページ <http://www.city.okayama.okayama.jp/kyouiku/orient/index.html>

■ 平成12年度岡山県総合文化センター企画展「現代作家の眼」の紹介 ■

アートウェーブ岡山・クラフト選抜展

展覧会名 「現代作家の眼」アートウェーブ岡山・クラフト選抜中央展

(サブタイトル) くらし
生活のなかの創造的工芸

会 期 平成12年10月18日(水)～10月29日(日)

会 場 岡山県総合文化センター 第一展示室

主 催 「現代作家の眼」展実行委員会
岡山県総合文化センター
岡山県教育委員会

入 場 料 無 料

この展覧会は、県内在住の美術家をジャンル別に選抜しその作品を紹介していくもので、今年度は「クラフト」選抜展として開催します。

近年、生活に関わるデザインやクラフトへの認識が高まっていますが、「工芸」というと、いわゆる伝統工芸を指す場合がまだ少なくありません。そこで、今回は「生活(くらし)のなかの創造的工芸」をサブタイトルに、工芸に現代的な意義を見出すクラフト作家を約40名選抜し、陶芸・木工・金工・染織・ガラス工芸などの作品を一堂に展示します。



山本美文「櫛古材置床箱」

クラフトの魅力は、自由な創造性と造形的な確かさで、生活との関わりを豊かにしようとすることにあると言えるでしょう。この展覧会で、伝統の継承のみにとどまらないクラフト作家の、生活に向けた眼差しや新鮮な造形感覚に触れていただきたいと思います。皆様のご来場を、心よりお待ちしております。



梅田剛嗣「柿渋染網代編み屏風」

次回の企画展予告

アートウェーブ岡山・巡回展<玉野>

2001 STEP UP コラボレーション・ポエム

会 期 平成13年1月17日(水)～28日(日)

会 場 玉野市文化会館(玉野市築港1-10-10)

主 催 「現代作家の眼」展実行委員会

岡山県総合文化センター

岡山県教育委員会

玉野市教育委員会

県内在住の美術家と詩人が、ジャンルを越えて共同制作(コラボレーション)した作品、40点を展示する。
(高梁市歴史美術館と勝央町郷土美術館にも巡回予定)

おがやま人物往来 ⑤7

ひょうぐし こうきち 表具師幸吉

人力による飛行を日本で初めて試みたのは、備前の表具師幸吉であったといわれる。それは、江戸時代のいくつかの文献で紹介されているが、いずれも噂話を書き留めた程度であり、全てが事実かどうかはわからない。



表具師幸吉之碑 岡山市京橋

幸吉は江戸中期の人。備前児島郡八浜（現玉野市八浜）の櫻屋清兵衛の次男として生まれ、後に岡山の紙屋に移って表具を習う。

幸吉がいつどのようにして飛行に興味を持ったのかは明らかではないが、鳥を観察して飛行理論を組み立てたようである。

その理論は伝承によって若干の相違はあるものの、大体次のようなことである。

「様々な（あるいは一種類の）鳥の羽と胴の重さを計測し、その割合を導き出す。それを自分の体に当てはめて相当する翼を作れば、人間も鳥と同じように空を飛べるはずである」。

自分の体に合う大きな翼を、熟達した表具師の技をもって制作した幸吉は、岡山城以外で一番高い京橋を実験場所に選んだ。しかし、何度目の実験だったのか、飛行に失敗して群集の中に落ちてしまう。まさか空から人が落ちてくるとは夢にも思わない人々は河原から逃げ惑い、のどかな夕涼みの風景が一転大騒ぎになったという。

その騒ぎが元で、幸吉は岡山藩から所払いの刑を受ける。

一度郷里の八浜へ帰るが、間もなく駿府国（静岡県）へ居を移す。そこでは手先の器用さを生かして時計の修繕をしながら、備考齋と名乗り、入れ歯師として生計を立てていた、と言われている。優秀な表具師でもあった幸吉は、入れ歯師としての腕前も相当なものだったらしく、付け心地の良い精巧な入れ歯を作る男として知られていた。

静岡の地で名声を得た幸吉だったが、やはり夢は捨てきれず、飛行を試みたとする説がある。亡くなった場所、年は不明である。

生まれ故郷の玉野市は、幸吉の顕彰につとめ、研究会もある。なお、1997年には旧岡山藩主池田家の現当主から幸吉の所払いが許された。

参考文献

- 「鳥人浮田幸吉考」/竹内正虎著（当館複製）
- 「鳥人表具師・幸吉」/渡辺知水著
- 「鳥人桜屋幸吉を偲ぶ」/貝原 璋著
- 「『鳥人幸吉』史料の分析」/北村 章著
- 「筆のすさび」管茶山著『日本随筆大成』
- 「寓居雑記」小島天楽著

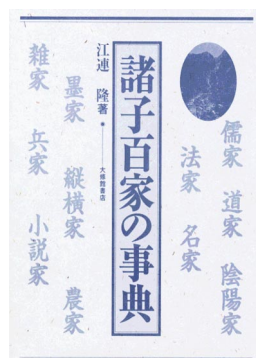
当館の参考図書 ①①

諸子百家の事典

（江連隆著 大修館書店 2000）

諸子百家とは、中国古代の春秋・戦国時代に出現した多くの思想家、すなわち孔子、孟子、荀子、老子、荘子、列子、韓非子などのことをいう。

本書はまず、諸子百家という名称と分類がどのように成立し変遷していったかをたどる。そして諸子百家のうち代表的な各家について、歴史・主要な人物とその思想・書物・後世の評価などを詳述し、その他の諸子についても簡単に説明している。



また、名言・成句は日本人にも馴染みのあるものが多く取り上げられている。その句を含む前後の部分も解説して背景を明らかにし、原文も併せて示している。引用された原文には全て振り仮名を付してあり、読み易い。人物像・戦いの歴史

の解説では、興味深い逸話が紹介されていたり、川柳・狂歌を載せて、例えば「孟母三遷の教え」が江戸庶民にどう受け止められていたかが窺えるようになっていたり面白。

読み物としても楽しめる一冊である。

新着郷土資料紹介

藩世界の意識と関係 岡山藩研究会編 岩田書院発行 2000 377\$

岡山の女性と暮らし「戦前・戦中」の歩み 岡山女性史研究会編著 山陽新聞社発行 2000 274\$

岡山みてある記 四季折々の自然を訪ねて 柳瀬和之著 吉備人出版発行 2000 236\$

ティータイムブック 岡山県南で評判の172のティータイムスポット アス編、発行 2000 193\$

小川正子の生涯 アルバムと短歌でつづる・救らいの母 神田甲陽著 春日居町教育委員会発行 2000 62\$

岡山県経済ダイジェスト2000(増刊 岡山経済) 岡山県経済研究所編、発行 2000 122\$
企業ガイドみまさか2001 若者の定住化推進

委員会編、発行 2000 87\$

ぼくら十五才の詩 満蒙開拓青少年義勇軍の手記(川上町編) 南一平漫画 川上町拓友会発行 2000 79\$

こんなことネット 総社版 総社市仕掛人塾編 総社市企画課発行 2000 34\$

岡山の流れ橋 岡山文庫205 渡辺隆男著 日本文教出版発行 2000 157\$

宇高連絡船78年の歩み 萩原幹生編著 成山堂書店発行 2000 345\$

竹久夢二と大藤昇 荒木瑞子著、発行 2000 46\$

大月関平伝 剣聖塚原ト伝の系譜 芝原哲三著 東京経済発行 2000 399\$

伝記森田思軒 明治の翻訳王 谷口靖彦著 山陽新聞社発行 2000 279\$

歌碑(金光町)拓本散歩第7集 坂本寅明編著 金光拓本の会発行 2000 47\$

外国語資料紹介

冒険

I, crocodile (by Fred Marcellino / Harper Collins / 1999)



エジプトで平和な日々を送っていたのに、1799年8月、ナポレオンによりミイラ・スフィンクス・オペリスクと共に、突然パリに連れてこられた1匹のワニ。

噴水の上に飾られ人々の注目を集めて人気者となったものの、次第に飽きられてしまったワニには、次なる運命が待ち受けていた...

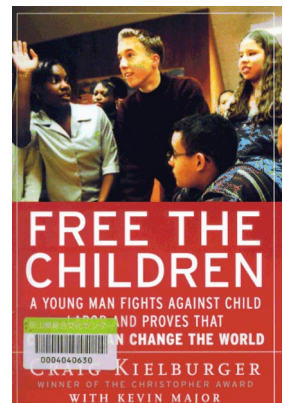
これは、1999年の「ニューヨーク・タイムズ最優秀イラスト賞」に輝いた作品で挿し絵も見事である。

挑戦

Free the children : a young man fights against child labor and proves that children can change the world (by Craig Kielburger with Kevin Major / Harper Perennial / 2000)

カナダの12才の少年クレイグは、子供の奴隷的労働反対を訴えていたパキスタン少年が殺されたニュースにショックを受けた。友達と「Free the Children」というグループを作った

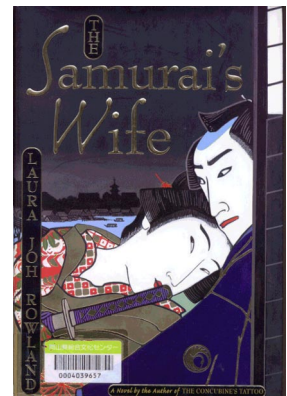
彼は、南アジア5カ国をまわって、児童労働の現状をレポートしている。この作品からは世界中の働かされている子供たちを自由にするために、子供にもできることがあるという彼の熱いメッセージが伝わってくる。



スリラー

The Samurai's wife (by Laura Joh Rowland / St. Martin's Press / 2000)

この作品は、ローラ・ジョー・ローランドによるスリラーシリーズの5作目であり、主人公は、フィリップ・マーローやサム・スペードの祖先のような凄腕のサムライ探偵 Ichiro Sano である。作中で、Ichiro は、美しく聡明で伝統にとらわれない女性 Reiko と結婚する。彼らは、協力しながら、京で起こった殺人事件の捜査を開始する。そして、2人は宮中の複雑怪奇な陰謀に立ち向かいながら容疑者を追いつめていくのである。



随想

“演劇という人間ドラマ”

東 敬 一 (CARATプロジェクトカンパニー主宰)



作家にとって戯曲とはどのような位置を占めるのでしょうか？長い間思いを巡らせているテーマです。小説のように作家の筆によって完成品として成立しているのではなく、演出、役者、照明、音響、装置等、

さまざまなジャンルの総合芸術として、そして観客という存在があって初めて成立する演劇。小説よりも歴史をもっている戯曲は、ギリシャの古典劇を例にするまでもなく、今なお新鮮で心に訴えてきます…。戯曲はセリフ、つまり“日常で話す言葉”で書かれてきました。古典の戯曲が現在まで生きのびた大きな理由は、古今東西、老若男女を問わず、人間のもつ感情、喜怒哀楽は現在に至るまでちっとも変わりはないからでしょう。

さて、CARATプロジェクトカンパニーはこの6年間、文化センター土曜劇場という発表の場を通じて、“演劇と文学との関わりと表現”をテーマに、小説家にして劇作家という文学者をクローズアップして上演してきました。ちょっと紹介させていただきますと、95年は清水邦夫の「楽屋」をコメディ、シリアスヴァージョンの2本立て。96年は「悪童日記」で知られるハンガリーの女流作家アゴタ・クリストフの戯曲『エレベーターの鍵』と『贖(あがな)い』の2作品を脚色した「大人のための話の話」。特に『贖い』は日本初演ということもあり、上演許可等出版社、翻訳者諸氏のご協力を得て実現しました。97年は、文学的資質では傑出した劇作家・野田秀樹の「赤鬼 AKAONI」。98年はオリジナル作品「道化の華 da sein DAZAI」。没後50年、鮮烈な生涯を送った文学の旗手、太宰治へのレクイエムを奏でました。

99年はイギリスの作家オスカー・ワイルドの戯曲『サロメ』をモチーフにしたオリジナル作品「SALOME '99」。20世紀末の現在に19世紀末に誕生した名作を重ね合わせて新しく甦(よみがえ)せました。

さて、ミレニアムにして今世紀末の土曜劇場も近づいてきました。この6年間の集成として、三島由紀夫の「近代能楽集」を上演します。8編からなるこの作品の中から、名品と謳(うた)われる『卒塔婆小町(そとばこまち)』『葵上(あおいのうえ)』『弱法師(よるぼし)』の3作品を一挙上演します。没後30年、三島氏のご遺族から上演許可を得ましたが、3作品一挙上演というのは珍しいようで、2時間余り、現実と幻想が交錯する不思議なドラマになります。能の謡曲という古典を現代劇に蘇(よみがえ)らせた三島戯曲の金字塔をどう演出するか、格闘の日々が続いています。ぜひとも、10月28日(土)、29日(日)には文化センターホールへ足をお運びいただければと思っています。

最後に、とっておきのエピソードを紹介しましょう。三島は学生の時、晩年の太宰治を和服を着て一度だけ訪ねていっています。そして“僕はあなたの文学がきらいです”と言い放ちました。太宰も驚いたでしょうが、言った三島自身も後半生このことにこだわり続けました。そして、三島は自刃する3日前まで自らの追悼公演としてワイルドの「サロメ」を選び、演出と稽古を続けていました。『卒塔婆小町』には「サロメ」を連想させるセリフが散りばめられています。太宰と三島とワイルドの関わりは、点が線になるようにつながり、ひとつひとつ公演として結実していきます。公演に取り組む間に、こういった作者の意外なエピソードと出会うことも演劇づくりの原動力のひとつとなっています。

一日こども図書館フェスティバル

日時：平成12年10月1日(日)

午前10時～午後4時

場所：くまやまふれあいセンター

人形劇や読み聞かせ、科学コーナー、マジック、ブックトーク、リサイクル本まつりなど楽しい催しがいっぱいです。

町内外を問わず、みなさんの参加をお待ちしています。 入場無料



平成12年度 岡山県読書大会

日時：平成12年10月28日(土)

午後1時～午後4時

場所：早島町町民総合会館文化ホール

読書週間(10月27日～11月9日)にあたり、広く県民の皆様方に読書の意義を再認識していただくとともに、県民の文化的資質の向上を目的として、この度は、早島町で開催します。優良読書グループの表彰式、伝達式、実践発表などが行われる読書の祭典です。 入場無料

■詳細は☎(086)270-2671 岡山県総合文化センター分室・普及課へ

10・11月の催物案内

岡山県総合文化センター

ギャラリー（開場時間 9：00～17：00）

月別	期間(週)	第1展示室		第2展示室	
		大室	小室	大室	小室
10	10/3～10/8	公募：第22回玄画会展覧会 日本画29点, 油彩画5点, 水墨画45点, 工芸20点他 玄画会 500円, 高校生以下及び老人・会員無料		第23回皴墨書道会展 書80点 皴墨書道会 入場無料	
	10/10～10/15	第42回養和書道院展 書道200点 養和書道院 入場無料		第40回西日展(公募) 書道300点 養和書道院 入場無料	
	10/17～10/22	【会期：10/18～10/29】 「現代作家の眼」アートウェブ岡山・クラフト選抜中央展		第13回環展 絵画30点, 書15点, 彫刻5点, 写真5点 環展 入場無料	
	10/24～10/29	生活のなかの創造的工芸 県内作家約40名による作品約120点 「現代作家の眼」展実行委員会 入場無料		第25回金光ゆざきフォト集団写真展 写真100点 金光ゆざきフォト集団 入場無料	
				第10回白日会岡山支部展 油絵30点, 彫刻3点, 水彩3点 白日会岡山支部 入場無料	
11	10/31～11/5	第16回梅操展 洋画15点, 書道16点, 染色4点他 梅操会 入場無料	第23回日本画・水墨画静流会展 日本画・水墨画60点 日本画・水墨画・静流会 入場無料	岡山彫刻会展 彫刻60点 岡山彫刻会 入場無料	
	11/7～11/12	2000年チャールズ岡山秋の作品展 洋画・日本画60点 チャールズ会岡山 入場無料	第18回ODA展 デザイン35点 岡山デザイナーズ協会 入場無料	第9回墨成書道会展 書130点 墨成書道会 入場無料	
	11/15～11/19	第50回岡山県勤労者美術展 日本画90点, 洋画260点, 書130点, 写真200点 (社)岡山県勤労者福祉協議会 入場無料		第27回自詠書展 書50点 岡山県書と歌の会 入場無料	
	11/21～11/26	第24回岡山県高等学校総合文化祭書道部門・第14回岡山県高校生書道展覧会 書200点 岡山県高等学校書道連盟・岡山県高等学校芸術文化連盟書道部会 入場無料		第13回水墨画虎杖会展 水墨画80点 水墨画虎杖会 入場無料	
	11/28～12/3	第7回生徒作品・表現活動発表会 写真100点, 絵画300点, 書100点, 社会30点, 立体50点, 交流作品30点 岡山市中学校文化連盟 入場無料		第37回墨象会展 書100点 墨象会 入場無料	
				第16回岡山県厚生年金受給者協会生きがい美術展 書20点, 日本画30点, 洋画15点 岡山県厚生年金受給者協会 入場無料	
				新紀展 油絵30点 新紀会 入場無料	

ホール（固定席282席）

日曜)	催物	時間	料金	主催者
9/29(金)	第313回文化センター土曜劇場	13:00～18:00	無料	岡山県総合文化センター
30(土)	岡山市内高等学校演劇発表会 (岡山県高校演劇協議会参加17高校公演)	9:00～19:00		
10/1(日)		9:00～16:00		
10/7(土)	演劇公演	18:30～20:30	1500円	劇団：黒い兔団
10/8(日)		14:30～16:30		
10/13(金)	演劇公演	18:30～20:30	1500円	劇団：黒い兔団
10/14(土)	演奏会	13:00～16:30	500円	理大マスカット・就実おもちゃ箱 Joint Live
10/15(日)	音楽イベント	未定	未定	高倉昭博
10/17(火)	平成12年度岡山県花の銀行頭取会議	9:30～16:30		岡山県明るい県民運動推進協議会
10/22(日)	演劇公演 「過去形で語られるものたち」	14:00～17:00	1000円	劇団：らくだのくるぶし
10/28(土)	第314回文化センター土曜劇場 CARATプロジェクトカンパニー公演 (*近代能楽集より『卒塔婆小町』・『葵上』・『弱法師』)	18:00～	前売 大：1500円 学生：1000円 当日 大：1800円 学生：1200円 会員無料	岡山県総合文化センター
10/29(日)		13:30～		
11/3(金)	ピアノ発表会	13:00～16:00	無料	さとみピアノ教室
11/5(日)	詩吟の発表大会	10:00～16:30	無料	岡大文化会吟詩部
11/12(日)	ライシャワートロフィー中学生英語スピーチコンテスト	9:30～16:00		(財)岡山日米文化協会
11/18(土)	音楽演奏会	10:00～16:00	無料	岡山県小学校教育研究会音楽部会(OTCシンフォニー)
11/19(日)	ピアノ・電子オルガン発表会	12:30～16:00	無料	上野ピアノ教室
11/23(木)	ピアノ発表会	10:00～16:00	無料	ピアノ椎の実会
11/25(土)	第315回文化センター土曜劇場 演劇工舎「ゆめ」公演 「ジブシー」 (千の輪の切り株の上の物語)	13:00～15:00	前売 大：1300円 中高生：800円 当日 大：1500円 中高生：1000円 会員無料	岡山県総合文化センター
11/26(日)		18:00～20:00		
11/26(日)		13:00～15:00		
11/30(木)	狂言公演	18:00～20:00	3000円	田賀屋狂言会

抽選会は、12/1(6～8月)・3/1(9～11月)・6/1(12～2月)・9/1(3～5月)です。

ただし、使用目的は、ピアノ発表会・バンド演奏会・演劇公演等、営利目的以外の催しに限ります。

会員………文化センター友の会及び文化振興会会員

平成12年度岡山県総合文化センター友の会会員を募集中。(詳細は文化センター総務課まで)

催物案内と文化センターニュースはホームページでもご覧になれます。